



現場の危機感を政府へ反映 —価格転嫁と手取り増の実現に向けて—

皆さま、ご安全に！村田きょうこです。

スギ花粉のピークを迎え、花粉症の方は大変かと思います。また気温差が大きくなり、体調管理にも気を使う季節を迎えました。インフルエンザもまだまだ油断できません。健康管理にお気をつけください。

先月は衆議院で、解散総選挙が行われ、2月18日から特別国会が始まりました。引き続き、皆さまから頂いた声を国会に届け、政策として実現するため、頑張ります！引き続き、村田きょうこに現場の声をお寄せください。

【価格転嫁待ったなし2. 25院内報告会に出席】春闘への影響を質問

<今回のポイント>

1. 現場の実態について安河内会長に質問しました。

中小企業において、レアアースを確保したくても確保できない現状(大企業との格差)や2026春闘への影響を質問しました。

2. 安河内会長からの回答

現状、価格転嫁は一切できていない。

2026春闘に当然影響すると思うが、要求書を出した段階なので、具体的な話はまだないが、春闘に影響せざるを得ないと思っていますと回答されました。

3. 今後の対応

現場の窮状を打開するため、引き続きJAMと連携を強化します。



安河内 JAM 会長に
質問する

【JAM組合員の声が届ける】レアアースの供給状況についてヒアリング

<今回のポイント>

1. 現場の深刻な実態を政府に届ける

1月23日、JAM出身の郡山りょう参議院議員と連携し、経済産業省に対してレアアース供給不足に関するヒアリングを郡山りょう事務所で実施し、ものづくり現場の深刻な実態を政府へ直接届けました。

2. JAMに寄せられた現場の声が議論の土台に

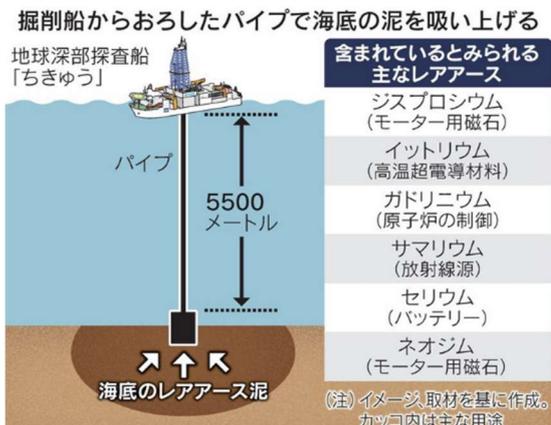
ヒアリングでは、JAMに寄せられた現場情報から3件を抜粋して提示。政府側が「影響は小さい」との認識を示す一方、現場からは「今春にも在庫が底を突く」といった悲痛な声が上がっている矛盾を指摘し、実態に即した支援を強く迫りました。

経済産業省の回答

代替品への切り替え時に必要な検査や認証の費用「承認コスト」も含め、価格転嫁を認めるように後押しします。

3. 供給網の多角化を主張

政府側からは、オーストラリア(2025年～)やフランス(2027年～)との供給契約による対策が示されました。これに対し、さらなる供給源の多角化を図るよう委員会の中で主張していきます。



郡山議員と経済産業省からヒアリングを受ける

● 要望が多かったレアメタル・レアアース

ネオジウム→電気自動車(EV)の駆動モーター、風力発電機、HDD、ハードディスク、スマホ、音響機器などの部品で使用。

タングステン→非常に硬い切削工具、釣り具の錘、産業用金型として多用。産業でよく使われている。

サマリウム・コバルト磁石→モーター・発電機：自動車用モーター、サーボモーター、小型発電機。センサー・スイッチで使用。

【JAM組合員の声の実現】食事支給の非課税枠が「41年ぶり」に引き上げ！

前回は報告しましたが、JAM組合員の皆様の声を踏まえ、取り組んできました食事支給の非課税限度額が41年ぶりに引き上げになります。政府が、2月18日に召集した特別国会で、来年度予算案とともに関連法案として提出しました。国会審議を経て、正式に決定します。

皆さんの福利厚生の上昇につながり、皆さんの手取りを増やすことができました！！

<今回のポイント>

1. 非課税限度額の引き上げ額

3,500円⇒7,500円に引き上がる 予定です。

2. 粘り強い交渉

2023年11月の初質問では前向きな答弁ではありませんでしたが、**2年間に渡り計3回**ほど国会で質問をし続けて実現しました！

3. 手取りを増やせます！

食事補助の導入や補助額の引き上げは、**非課税限度額までは税・保険料がかからない**ので、労使で合意をやすく、**組合員の皆さんの手取りを増やせます。**

注意事項

- 従業員が食事代金の半額以上を負担し、かつ補助額が月額 7,500 円以下の場合、所得税が非課税になる措置です。社食や弁当等の代金補助、商品券等の提供等の方法が可能(金銭による支給は対象外)



突然の衆議院解散。大義はどこに？

<今回のポイント>

1. 「寝耳に水」の解散劇、1月23日に総選挙突入

1月9日の読売新聞によるスクープからわずか2週間、高市首相が衆議院解散を断行。与党幹部すら直前まで把握していない異例の展開となり、年度末の重要局面で1カ月以上の国会審議停滞を招く事態となりました。

2. 物価高騰下の「政治空白」を厳しく追及していきます

衆院議員の任期が2年以上残る中での解散に対し、国民が物価高に苦しむ中、あえて政治空白を作る意図に疑問があります。次年度予算案の行方や、株式・為替市場への影響、地方行政の停滞など、山積する懸念事項を国会審議で質していきます。

3. おおたけりえ候補者の支援に行脚しました

解散を受け、JAM 組織内候補のおおたけりえさんや、地元・鹿児島候補者らの応援のため全国各地を奔走しました。春闘前の大変忙しい時期にも関わらず、多くの組合員さんにご支援頂きありがとうございますました。

4. 地元メディア対応と組織内行事にフル稼働

選挙戦の傍ら、鹿児島のテレビ局や新聞社の取材に対応しました。さらに JAM 加盟組合の旗開きや学習会へも精力的に出席しました。引き続き、現場の声を村田きょうこまでお聞かせください。



鹿児島 MBC 放送インタビュー



おおたけりえ候補者とともに



鹿児島3区 野間たけし候補者の応援

【国会見学】2単組約30人が来訪

2月は、1単組1地方約30人の皆さんが国会見学にお越しくださいました。皆さまにもお会いでき、楽しかったです。



カシオ労働組合の皆さんと



JAM北関東の皆さんと

【発行元】JAM 本部 政策政治グループ
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 [TEL:03-3451-2451](tel:03-3451-2451) 公式サイト⇒<https://murata-kyoko.com/>